

本稿は現代中国語における副詞“在”についての研究であり、以下の七つの章によって構成されている。

第一章 副詞“在”の先行研究

第二章 副詞“在”と前置詞“在”の統一的解釈

第三章 “在”構文の生成過程

第四章 [現場進行]における副詞“在”と[非現場進行]における副詞“在”

第五章 副詞“在”が表す[複数の出来事の存在]

第六章 副詞“在”の文における時制構造

第七章 副詞“在”と副詞“正”の意味と論理

まず第一章では、他の研究者は副詞“在”を如何に解釈しているのかを確認し、その記述の中から検討の余地があると思われる点を四つ提示する。

第一に、副詞“在”に対して多くの研究者が「進行」という言葉を用いて解釈していることである。

第二に、“在”は[現在]、[過去]、[未来]のいずれにおいても生起しえることである。従って、“在”は時態(aspect)を表現することが可能であると推測できる。

第三に、“在”は、“经常”、“总”、“一向”、“一直”、“还”、“又”、“已经”といった成分と共に共起することができ、これらの成分によって“在”が修飾する出来事の長期的な存在を保証していることである。

第四としては、副詞の“在”と前置詞の“在”は共に状況語となる点からして、時として両成分の境界線は曖昧となる可能性があるということである。

以上の問題点は第二章から第七章の中で妥当な見解を提示する。

そこで第二章では、副詞“在”によって構成する“在+動詞”は、前置詞“在”に後続する目的語が省略された形式であることを主張する。即ち、“在”は副詞、前置詞を問わず、いずれも述連構造の一番目の動詞を担うと見なし、かつ、“在”の後方には、意味上、必ず目的語が存在すると考える。従って“在”に後続した目的語の有する特徴の差異、或いは目的語の有無に基づき、以下の三つの構文に区分して考察を行うこととなる。

① 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文

② 出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文

③ 目的語が生起した“在”構文

また、“在”の文における各成分の意味関係を明らかにするため、松村(2005)の理論を基にして、命題論理(propositional logic)と述語論理(predicate logic)を併用した論理式による解析を試みる。

第三章では、オートマトン(automaton)、状態遷移図(state transition diagram)、論理回路(logical circuit)、タイプ理論(type theory)を運用し、第二章で用いた論理式の正当性を多角的に証明する。また、終わりには談話概念から論理式の生成を検討する。

第四章は副詞の“在”が表す[進行]を[現場進行]と[非現場進行]に区分して考察を行う。要点は以下の三つである。

第一に、[現場進行]の文は、出来事が発話時間において存在している点に注目が置かれた[進行]であり、一方[非現場進行]は、発話時間に制限されず、出来事が複数存在している点に着眼した[進行]である。第二に、[現場進行]の文の出来事地点は一か所であり、[非現場進行]の文の出来事地点は複数に及ぶということである。第三の要点としては、[現場進行]の文は出来事の高発を保証する成分が生起しないが、[非現場進行]の文には出来事の高発を保証する成分(“最近”、“現在”、“每天”、“一天到晚”、“一直”、“六年”)が生起しているということである。また、第二章で運用した論理式の解析をここでも用いることにする。

第五章においては、副詞“在”が表す[進行]の概念が論理的に如何なるしくみによって成立しているのかを明らかにする。主たる考察方法は、副詞“在”が生起する文を五つのタイプに分けて分析し、“在”が示す[進行]とは厳密に[複数の出来事の存在]の意であることを証明する。重要な点は、副詞“在”に後続する動詞が有する[持続]の意味特徴、及び他の成分や前後の文脈によって、出来事が「数量化」していることである。その五つのタイプは以下の通りである。

- ① 複数の時間概念から[進行]を明確に判断できる例
- ② 複数の場所概念から[進行]を明確に判断できる例
- ③ 複数の動作主から[進行]を明確に判断できる例
- ④ 複数の動作行為の対象から[進行]を明確に判断できる例
- ⑤ 他の文脈から[進行]を明確に判断できる例

そして、第六章では、副詞“在”は[進行]の意味を表す時態成分であるという仮説のもと、“在”と時制(tense)との関わりについて詳述する。主として、絶対時間と相対時間の二つの視点から“在”構文を考察する。その結果、絶対時間から考察すると、発話時間と時態副詞“在”が生起する文(出来事時間)との時間関係は、[過去]における[進行]、[現在]における[進行]、或いは[未来]における[進行]の表現が可能であることを論じる。一方、相対時間から考察すると、参照時間と時態副詞“在”が生起する文(出来事時間)との時間関係は、[簡単]の関係を構成すると考える。また、この章においても命題論理と述語論理を併用した論理式による解析を行う。そして最後には、集合論(set theory)を運用して“在”の文の生成プロセスを検討し、時間体系から見た“在”の文の生成は、時相(phase)表現から時態表現、そして時態表現から時制表現という過程を踏むことを提示する。

第七章においては、集合論と量量子(quantifier)を運用して、副詞“在”と副詞“正”が表す意味を考察し、両成分の差異を明らかにする。その結果、“在”の[複数の出来事の存在]

の意は、通常、存在量子子(existential quantifier)によって解析し、“正”の[複数の出来事の包括]の意は全称量子子(universal quantifier)によって解しえることを主張する。

現代中国語における副詞“在”の意味と論理
Adverb *Zai*(在) in Mandarin Chinese Semantics

神奈川大学大学院 外国語学研究科 中国言語文化専攻 青木 萌

目次

序	1
第一章 副詞“在”の先行研究	4
1.0 はじめに	4
1.1 先行研究	4
1.1.1 潘文娛(1980)	5
1.1.2 北京大学中文系 1955、1957 级语言班編(1982)	5
1.1.3 杉村博文(1994)	5
1.1.4 龔千炎(1995)	7
1.1.5 王还主編(1997)	7
1.1.6 郭風嵐(1998)	8
1.1.7 侯学超編(1998)	8
1.1.8 呂叔湘主編(1999)	9
1.1.9 朱繼征(2000)	9
1.1.10 李科第(2001)	10
1.1.11 刘月华等(2001)	10
1.1.12 張斌主編(2001)	10
1.1.13 馬真(2004)	11
1.1.14 李曉琪(2005)	12
1.1.15 朱景松主編(2007)	12
1.1.16 房玉清(2008)	13
1.1.17 卢福波(2010)	13
1.1.18 袁莉容 郭淑伟 王静(2010)	13
1.1.19 岑玉珍主編(2013)	14
1.2 第一章の結び	14
第二章 副詞“在”と前置詞“在”の統一的解釈	17
2.0 はじめに	17
2.1 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文	17
2.2 出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文	31
2.3 目的語が生起した“在”構文	35
2.4 第二章の結び	38

第三章 “在”構文の生成過程	40
3.0 はじめに	40
3.1 オートマトンによる解析	40
3.2 状態遷移図による解析	41
3.3 論理回路と論理式による解析	43
3.4 タイプ理論による解析	46
3.5 談話概念を導入した論理式の生成過程	48
3.6 第三章の結び	49
第四章 [現場進行]における副詞“在”と[非現場進行]における副詞“在”	51
4.0 はじめに	51
4.1 [現場進行]を表す“在”	51
4.2 [非現場進行]を表す“在”	56
4.3 第四章の結び	64
第五章 副詞“在”が表す[複数の出来事の存在]	66
5.0 はじめに	66
5.1 複数の出来事の存在を表す“在”	66
5.1.1 複数の時間概念から[進行]を明確に判断できる例	66
5.1.2 複数の場所概念から[進行]を明確に判断できる例	69
5.1.3 複数の動作主から[進行]を明確に判断できる例	70
5.1.4 複数の動作行為の対象から[進行]を明確に判断できる例	72
5.1.5 他の文脈から[進行]を明確に判断できる例	73
5.2 第五章の結び	75
第六章 副詞“在”の文における時制構造	77
6.0 はじめに	77
6.1 絶対時間と相対時間	77
6.2 副詞“在”における時制構造	79
6.2.1 [過去]-[簡単]における“在”構文	79
6.2.2 [現在]-[簡単]における“在”構文	83
6.2.3 [未来]-[簡単]における“在”構文	86
6.3 集合論の運用による解析	90
6.4 第六章の結び	93
第七章 副詞“在”と副詞“正”の意味と論理	94
7.0 はじめに	94
7.1 “在”の解析	94
7.2 “正”の解析	101
7.3 第七章の結び	112

結びにかえて	114
参考文献	117
用例の出典先	119

序

本稿は現代中国語における副詞“在”についての研究であり、以下の七つの章によって構成されている。

第一章 副詞“在”の先行研究

第二章 副詞“在”と前置詞“在”の統一的解釈

第三章 “在”構文の生成過程

第四章 [現場進行]における副詞“在”と[非現場進行]における副詞“在”

第五章 副詞“在”が表す[複数の出来事の存在]

第六章 副詞“在”の文における時制構造

第七章 副詞“在”と副詞“正”の意味と論理

まず第一章では、他の研究者は副詞“在”を如何に解釈しているのかを確認し、その記述の中から検討の余地があると思われる点を四つ提示する。

第一に、副詞“在”に対して多くの研究者が「進行」という言葉を用いて解釈していることである。

第二に、“在”は[現在]、[過去]、[未来]のいずれにおいても生起しえることである。従って、“在”は時態(aspect)を表現することが可能であると推測できる。

第三に、“在”は、“经常”、“总”、“一向”、“一直”、“还”、“又”、“已经”といった成分と共に起ることができ、これらの成分によって“在”が修飾する出来事の長期的な存在を保証していることである。

第四としては、副詞の“在”と前置詞の“在”は共に状況語となる点からして、時として両成分の境界線は曖昧となる可能性があるということである。

以上の問題点は第二章から第七章の中で妥当な見解を提示する。

そこで第二章では、副詞“在”によって構成する“在+動詞”は、前置詞“在”に後続する目的語が省略された形式であることを主張する。即ち、“在”は副詞、前置詞を問わず、いずれも述連構造の一番目の動詞を担うと見なし、かつ、“在”の後方には、意味上、必ず目的語が存在すると考える。従って“在”に後続した目的語が有する特徴の差異、或いは目的語の有無に基づき、以下の三つの構文に区分して考察を行うこととなる。

① 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文

② 出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文

③ 目的語が生起した“在”構文

また、“在”の文における各成分の意味関係を明らかにするため、松村(2005)の理論を基にして、命題論理(propositional logic)と述語論理(predicate logic)を併用した論理式による解析を試みる。

第三章では、オートマトン(automaton)、状態遷移図(state transition diagram)、

論理回路(logical circuit)、タイプ理論(type theory)を運用し、第二章で用いた論理式の正当性を多角的に証明する。また、終わりには談話概念から論理式の生成を検討する。

第四章は副詞の“在”が表す[進行]を[現場進行]と[非現場進行]に区分して考察を行う。要点は以下の三つである。

第一に、[現場進行]の文は、出来事が発話時間において存在している点に注目が置かれた[進行]であり、一方[非現場進行]は、発話時間に制限されず、出来事が複数存在している点に着眼した[進行]である。第二に、[現場進行]の文の出来事地点は一か所であり、[非現場進行]の文の出来事地点は複数に及ぶということである。第三の要点としては、[現場進行]の文は出来事の高発を保証する成分が生起しないが、[非現場進行]の文には出来事の高発を保証する成分(“最近”、“現在”、“毎日”、“一天到晚”、“一直”、“六年”)が生起しているということである。また、第二章で運用した論理式の解析をここでも用いることにする。

第五章においては、副詞“在”が表す[進行]の概念が論理的に如何なるしくみによって成立しているのかを明らかにする。主たる考察方法は、副詞“在”が生起する文を五つのタイプに分けて分析し、“在”が示す[進行]とは厳密に[複数の出来事存在]の意であることを証明する。重要な点は、副詞“在”に後続する動詞が有する[持続]の意味特徴、及び他の成分や前後の文脈によって、出来事が「数量化」していることである。その五つのタイプは以下の通りである。

- ① 複数の時間概念から[進行]を明確に判断できる例
- ② 複数の場所概念から[進行]を明確に判断できる例
- ③ 複数の動作主から[進行]を明確に判断できる例
- ④ 複数の動作行為の対象から[進行]を明確に判断できる例
- ⑤ 他の文脈から[進行]を明確に判断できる例

そして、第六章では、副詞“在”は[進行]の意味を表す時態成分であるという仮説のもと、“在”と時制(tense)との関わりについて詳述する。主として、絶対時間と相対時間の二つの視点から“在”構文を考察する。その結果、絶対時間から考察すると、発話時間と時態副詞“在”が生起する文(出来事時間)との時間関係は、[過去]における[進行]、[現在]における[進行]、或いは[未来]における[進行]の表現が可能であることを論じる。一方、相対時間から考察すると、参照時間と時態副詞“在”が生起する文(出来事時間)との時間関係は、[簡単]の関係を構成すると考える。また、この章においても命題論理と述語論理を併用した論理式による解析を行う。そして最後には、集合論(set theory)を運用して“在”の文の生成プロセスを検討し、時間体系から見た“在”の文の生成は、時相(phase)表現から時態表現、そして時態表現から時制表現という過程を踏むことを提示する。

第七章においては、集合論と量化子(quantifier)を運用して、副詞“在”と副詞

“正”が表す意味を考察し、両成分の差異を明らかにする。その結果、“在”の[複数の出来事の存在]の意は、通常、存在量化子(existential quantifier)によって解析し、“正”の[複数の出来事の包括]の意は全称量化子(universal quantifier)によって解しえることを主張する。

以下第一章から順を追って考察を進める。

第一章 副詞“在”の先行研究¹⁾

1.0 はじめに

本章は従来の研究者が副詞“在”を如何に解釈しているのかを確認し、その記述の中から検討の余地があると思われる点を提示する。それは以下の四点である。

第一に、副詞“在”に対して多くの研究者が「進行」という言葉を用いて解釈していることである。

第二に、“在”は[現在]、[過去]、[未来]のいずれにおいても生起しえることである。故に、“在”は時態(aspect)を表現することが可能であると推測できる。

第三としては、“在”は、“经常”、“总”、“一向”、“一直”、“还”、“又”、“已经”といった成分と共に起ることができ、これらの成分によって、“在”が修飾する出来事の長期的な存在を保証していることである。

そして第四に、副詞の“在”と前置詞の“在”は共に状況語となる点からして、時に両成分の境界線は曖昧となる可能性があるということである。

1.1 先行研究

本章では以下 19 個の記述を取り上げる。

1.1.1 潘文娛(1980)

1.1.2 北京大学中文系 1955、1957 级语言班编(1982)

1.1.3 杉村博文(1994)

1.1.4 龚千炎(1995)

1.1.5 王还主编(1997)

1.1.6 郭风岚(1998)

1.1.7 侯学超编(1998)

1.1.8 吕叔湘主编(1999)

1.1.9 朱继征(2000)

1.1.10 李科第(2001)

1.1.11 刘月华等(2001)

1.1.12 张斌主编(2001)

1.1.13 马真(2004)

1.1.14 李晓琪(2005)

1.1.15 朱景松主编(2007)

1.1.16 房玉清(2008)

1.1.17 卢福波(2010)

1.1.18 袁莉容 郭淑伟 王静(2010)

1.1.19 岑玉珍主编(2013)

では潘文娛(1980)の記述から見る。

1.1.1 潘文娛(〈谈谈“正”“在”和“正在”〉1980:44-47)

潘文娛(1980)は“在”に対して「動作が続いている、或いは進行中であることを表わす。」と述べた。また、「“在”の前方には“还”、“一直”、“已经”、“刚”等の時間副詞を加えることができる」と主張した。具体的な用例としては以下のようなものがある。(なお本稿における下線はすべて筆者による。また引用例の訳は1.1.3の杉村(1994)の記述以外はすべて筆者が行った。)

(1) 敌人已经在注意他们了。

(敵はすでに彼らを警戒しています。)

また潘文娛(1980:47)は次のような記述も残している。

「“在”が表わす持続性は離散的なものでもよい。しかし、それは日常的に行われているような動作である。」

そこでもう一つ例を挙げよう。

(2) 几年来,我都在在等着他!

(数年来、私はずっと彼を待ち続けています!)

この潘文娛(1980)において注目すべき記述は「“在”が表わす持続性は離散的なものでもよい。しかし、それは日常的に行われているような動作である。」である。この記述から、副詞“在”が修飾する出来事は、一つの現場に制限されず、複数の現場において存在する可能性がある」と推測することができる。

1.1.2 北京大学中文系 1955、1957 级语言班编(《现代汉语虚词例释》1982:620)

北京大学中文系 1955、1957 级语言班编(1982:620)は“在”に対して「動作、行為が正に進行の状態にあることを表わす。」という解釈を与えている。具体的な例としては以下のような文がある。

(3) 延安的青年们干了些什么呢?—他们在学习革命的理论,研究抗日救国的道理和方法。(《毛泽东选集》532)

(「延安の青年たちは何をしたのか、それは革命の理論を学び、抗日救国の道理と方法を研究していたのである。」)

(4) 那时,我们红军每天在和敌人打仗。

(あの時、私たち紅軍は毎日敵と闘っていました。)

1.1.3 杉村博文(『中国語文法教室』1994:104-106)

ここでは杉村(1994:104-106)における記述を引用する。杉村(1994:104)は“在”が表す意味について以下のように述べている。

「“在”は時間の流れを感じさせる行為や状況の継続・進行を表すことが多く、主に書きことばで使われます。」

用例は以下のようなものがある。

(5) “你会说日语吗?” “我在自学日语,会一点儿,说得不好。”

(「あなたは日本語が話せますか」「いま日本語を自分で勉強しています。
少しできますが、うまくはありません」)

- (6) 三年过去了，他还在在爱她。

(3年が過ぎたが、彼はなお彼女を愛し続けている)

- (7) 一切都会变，一切都在在变。我也在变。我的思想由复杂变简单，由简单变复杂，以后还要变下去。

(すべてが変化しうる，すべてが変化している。私も変化している。私の思考は複雑から単純に変化し，単純から複雑に変化した，そして今後もなお変化し続けるであろう)

また杉村(1994:105)は次のような見解も述べている。

「“着”と“在”の表す持続・継続・進行といった概念は意味上強く排斥し合うものではないので，主に書面語においてですが，しばしば組み合わされて用いられます。」

- (8) 毛毛细雨还在在不停地下着。

(こぬか雨はまだ間断なく降り続けている)

- (9) 她正在在做着前人没有做过的事。

(彼は今まさに前人が為したことの無い事をやっているところである)

- (10) 计算机的广泛应用正在在深刻地改造着生产力的面貌。

(コンピュータの広範な応用は今まさに生産力の様相を根本から換えつつある)

以上の記述の中で注目に値する点は以下のとおりである。まず，杉村(1994)は上記の例における“在”は主に書きことばで使われる。と述べているが，現在は書面語に止まらず口語においても“在”は多用されている。そこで陈前瑞(2008:257)における記述を紹介したい。陈前瑞(2008:257)は北京大学中文系の“汉语语料库检索”を利用し，老舍の《四世同堂》と，王朔の小説の中から，[進行]の意を表わす“在”と“呢”を取り出して両成分の生起率を比較した。その結果，《四世同堂》の“在”と“呢”の生起率は1:1.2となった。そして，《四世同堂》の会話文においては“在”が生起していないと述べた。一方，王朔の小説における“在”と“呢”の生起率は5.3:1という数値が得られた。故に現在では“在”は口語においても多く生起している，と推測しえる。

そこで，筆者は中国のテレビドラマを視聴して調査したところ，会話の場面において，副詞“在”が生起する文をたくさん収集することができた。例えば，《奋斗》の第一話だけで，副詞の“在”が生起した文を七つ，また《媳妇的美好时代》の第一話のみで二つ，そして《花非花雾非雾》における第一話では七つ収集することができた。(一話の放送時間は約四十分である。)また，本論文の第二章から第七章において用いる例の多くはテレビドラマの会話のシーンから収集したもの

である。従って、現在では副詞の“在”は口語においてもよく用いられる成分であると言って間違いないと思われる。

1.1.4 龚千炎(《汉语的时相时制时态》1995:44、89-93)

龚千炎(1995:89)は“在”を時態成分として見なし、以下のように述べた。

「動作行為の変化が進行、或いは状態が続いていることを表わす。」

幾つか例を挙げておこう。

(11) 他们在砍桉树。

(彼らはユーカリの木を切っている。)

(12) 你去吧，我在写文章呢。

(行ってください、私は文章を書いているので。)

(13) 她身上的肿块不仅没有缩小，而且还似乎在无休止地增大。

(彼女の体のできものは小さくならないばかりか、更に止まることなく大きくなっているようだ。)

(14) 是什么在扩散呢？

(何が拡散しているのですか？)

なお、時態とは、龚千炎(1995:44)によると「出来事(event)のある段階における特定の状態を表わす。」と解釈している。

1.1.5 王还主编(《汉英双解词典》1997:1103)

王还主编(《汉英双解词典》1997:1103)は副詞の“在”を二つの用法に区分した。即ち、

[1] “正在”の意味であり、動作が絶えず進行していることを表わす。“正”を替わりに用いることができる。²⁾

(15) 秒针在不停地走动。

[The second hand on the clock is constantly moving.]

(秒針は絶えず動いている。)

(16) 什么人在在唱歌？

[Who is singing?]

(誰が歌を歌っているのだろう？)

(17) 大家都在在等你。

[We are all waiting for you.]

(皆あなたを待っています。)

[2] ある範囲において活動していることを強調する。しかしそれは動作が進行の状態にあることを記述しているわけではない。他の副詞の修飾を受けることが可能である。“正”と代替することができない。

(18) 我几年来一直在作研究工作，没有教课。

[I've been engaged in research work in recent years and haven't done any

teaching.]

(私はここ数年ずっと研究をしています。授業はしていません。)

- (19) 深夜了，他还在看书。

[It was late at night and he was still reading.]

(夜も深まった、彼はまだ読書をしている。)

- (20) 他又在写家信了。

[He's writing another letter to his family.]

(彼はまた家族宛の手紙を書いている。)

- (21) 阅览室里安静极了，没有人不在专心学习。

[The reading room is deathly quiet. There isn't a single person in there who isn't concentrating on his studies.]

(閲覧室はとても静かで、みんなが熱心に勉強している。)

以上の記述から分かるように、王还主编(1997:1103)は副詞の“在”を二つに区分し、その内の一つは[非進行]、つまり、「動作が進行の状態にあることを記述しているわけではない」という意味を表すと述べている。そのため、他の研究者の見解とは大きく異なっておりとても興味深い。そこで再び王还主编が用いた例を見ると、(18)、(19)、(20)、(21)における用例は、複数の出来事存在を連想させる“几年来”、“一直”、“还”、“又”、“没有人不”といった成分が生起していることに気づく。故に、これらの成分の生起が[非進行]の概念を生じさせる原因ではないかと推論できる。

1.1.6 郭风岚(〈论副词“在”与“正”的语义特征〉1998:38)

郭风岚(1998:38)は“在”に対して「動作行為の進行、或いは動作行為や状態の持続の時間量を表す。」といった解釈を与えている。用例としては次のような文を挙げている。

- (22) 我明知道我今生没有希望了，然而这几天我又好像在期待着什么似的。

(僕は今生に希望はないと分かっているけど、ここ数日また何かを期待しているような気がするんだ。)

- (23) 她还在抽抽搭搭地哭泣。

(彼女は依然としてさめざめと泣いている。)

- (24) 你总在想工作，想孩子们，想家庭琐事。

(君はいつも仕事や子供たち、家の切り盛りのことを気にかけている。)

1.1.7 侯学超编(《现代汉语虚词词典》1998:725-726)

侯学超编(1998)は、“在”は「“正在”(動作の進行、状態が続いていることを表わす(侯学超編 1998:745))の用法と同じである。」と述べた。実例としては以下のような文を挙げている。まず“在”の後方に動詞、又は動詞連語が生起した文を見られたい。

(25) 篝火在燃烧，孩子们在欢笑

(たき火が燃えていて、子どもたちは喜ばしげに笑っている)

(26) 社会在发展，人民在前进

(社会は発展し続け、人は前進し続けている)

(27) 干吗呀，我在做作业呢

(何ですか、私は宿題をしているのです)

(28) 又不是我一个人，大家都在说

(私一人というわけではなく、みんなが揃って言っています)

(29) 只剩下黑狗还在对着桑树啼，老尼姑念着佛(鲁迅)

(ただ黒犬が依然として桑の木に向かって吠え、尼さんがお経を読み続けているだけである)

次は“在”の後方に形容詞、或いは形容詞連語が生起した例である。

(30) 这几天他总在忙，也不知忙些什么

(ここ数日彼はずっと忙しくしているが、何を忙しくしているのか分からない)

(31) 我们的生活一天天在好起来，你不必挂心

(私たちの生活は一日一日良くなってきました、気に掛ける必要はありません)

(32) 机构也在逐步健全

(機関も次第に健全になっている)

(33) 妈是在高兴，不是难过

(母は喜んでいる、悲しんではない)

(34) 力量一天天在壮大

(力が日に日に増している)

1.1.8 吕叔湘主编(《现代汉语八百词(增订本)》1999:645)

副詞“在”に対して吕叔湘主编(1999:645)は「“正在”(動作が進行中、或いは状態が続いていることを表わす(1999:672))の意である。」と述べている。用例は以下の三つである。

(35) 红旗在飘扬

(赤い旗がはためいている)

(36) 火车在飞奔

(汽車が疾走している)

(37) 时代在前进

(時代は前進している)

1.1.9 朱继征(『中国語の動相』2000:59)

朱继征(2000)は主として“在”と“着”の違いについて詳細な分析を行った。

その結果，“在”は動詞の外部状況を示す進行相形式であると主張した。

1.1.10 李科第(《汉语虚词辞典》2001:633)

李科第(2001:633)は“在”について以下のような見解を述べた。

「時間副詞として動詞の前に用いて、動作行為がちょうど進行の状態にあると
いうことを表わしている。“正”、“正在”と解釈してよい。」

用例は以下の三つである。

(38) 历史在发展，社会在前进。

(歴史は発展し続け、社会は前進し続けている。)

(39) 中国人民在开创人类历史上最壮丽的事业。

(我が人民は人類の歴史上、最も壮麗なる事業を創設している。)

(40) 风在吼，马在叫，黄河在咆哮。(光未然《黄河大合唱》)

(風は轟き、馬は嘶き、黄河は唸っている。)

1.1.11 刘月华等(《实用现代汉语语法(增订本)》2001:232)

刘月华等(2001:232)は，“在”は「動作の進行を表す」と考え、以下のような例
を挙げている。

(41) A:老师在做什么？怎么不来上课？

(先生は何をしているのだろうか？どうして授業に来ないのかな？)

(42) 早上我正在洗澡的时候，有人打电话来。

(早朝、私がちょうど入浴しているときに、誰かが電話をしてきた。)

(43) 明年这个时候，你会在做什么？

(来年の今ごろ、あなたは何をしているのでしょうか？)

(44) 去年这个时候，我正在上课。

(去年の今ごろ、私はちょうど授業をしていました。)

また、刘月华等(2001:232)は「“在”は、同じく動作の進行を表わす“呢”と共
起することができる。」と述べた。その例は、

(45) 我到学校的时候，同学们正在考试呢。

(私が学校に着いた時、学生たちはちょうど試験をしていました。)

である。以上の記述の中で留意すべき点は、概念上，“在”の生起は時制(tense)
に影響されないことが分かる。即ち，“在”は[現在]、[過去]、[未来]のいずれに
おいても生起しえるということである。たとえば(41)は[現在]，(42)は[過去]，
そして(43)においては[未来]の時制を有している。

一つ気になる点は、上記で紹介した如く、刘月华等(2001:232)は「“在”は、同
じく動作の進行を表わす“呢”と共起することができる。」と述べているが、一つ
の文に[進行]の意を示す成分が同時に共起するという点に疑問を感じざるをえな
い。³⁾

1.1.12 张斌主编(《现代汉语虚词词典》2001:683-684)

以下は張斌主編(2001:683-684)の引用である。

動作、或いは行為や性質の状態が進行、または続いていることを表わす。

- (46) 我进去时，他在给孩子们讲故事

(私が入って行ったとき、彼は子供たちに物語を話してあげていた)

- (47) 他不像在作检讨，倒像在诉苦

(彼は反省をしているのではなくて、苦情を言っているようである)

- (48) 天气一天天地在热起来

(天気が日に日に暑くなってきた)

- (49) 天在漫漫暗下来

(空が少しずつ暗くなってきた)

- (50) 前方的战士在流血，我们怎么能休息

(前線の兵士は流血しているのだから、我々はどうして休息することができようか)

“在”の後方に“着”、“呢”を伴うことができる。

- (51) 吉普车在公路上颠簸着，急驶着

(ジープ車は道路において揺れながら疾走している)

- (52) 他在生气呢

(彼は怒っています)

- (53) 他在跟进来的客人打着招呼

(彼は入ってきたお客に挨拶をしている)

- (54) 他在玩命呢

(彼は命を軽んじている)

“在”の前方に“又”、“还”、“一直”、“一向”等を用いることができる。

- (55) 他又在说谎了

(彼はまた出鱈目を言っている)

- (56) 那孩子还在哭

(あの子供はまだ泣いている)

- (57) 听说你一直在找这个秘方

(聞くとところによると君はずっとこの秘伝の処方を探しているそうだね)

- (58) 你不是一向在研究水果的培养和储存吗?

(あなたはずっと果物の栽培と保存について研究しているんですよね?)

以上の用例の中で注目に値する文は、(51)の“吉普车在公路上颠簸着，急驶着”である。つまり、ここでの“在”は、通常、品詞でいうと前置詞である。しかし、述語句の“颠簸着，急驶着”は[持続]の意を表していると思しえるため、文全体の意味としては[進行]の意味を表しえると考えられる。

1.1.13 馬真(《現代汉语虚词研究方法论》2004:160)

马真(2004:160)は、“在”は[進行]の意を表わす時態成分と判断し、[未来]、[現在]、[過去]のいずれの時制においても生起できると主張した。そして以下の三つの例を列挙した。

(59) 也许觉察到我在暗暗注意他，吉茨忽然抬起脸朝我一笑。

(私がひそかに彼に注意を払っていることに気づいたのかもしれない、吉茨は忽然顔を挙げて、私に向かってぽっと笑みを浮かべた。)

(60) 以后，我在跟人家说话时，你最好别插嘴。

(今後私が人と話をしているときは、無駄口を挟まないでください。)

(61) “你爸爸去哪儿啦？”“没去哪里，在备课呢。”

(「あなたのお父さんはどこへ行ったのですか？」「どこへも行っていないせん、講義の準備をしています。」)

以上の記述から、马真(2004:160)も“在”は[過去]、[現在]、[未来]におけるどの時制においても生起しえると見なしていることが分かる。また、(60)における“在”は時間を表わす“时”という成分が生起しているので、ここでの“在”は“在……时”という意味枠において用いられていることが分かる。通常、この“在……时”における“在”は前置詞と見なされる。しかし、この例における“我在跟人说话时”の“说话”は[持続]の意味を表し、文全体が表わす意味は確かに[進行]の意を示していると思なすことができる。よって“在”の意味役割と品詞について深く検討する余地があると思われる。

1.1.14 李晓琪(《现代汉语虚词讲义》2005:14-15)

李晓琪(2005:15)は、“在”は状況語として、ちょうど進行しているということを表わすと主張した。具体的に以下のような用例がある。

(62) 风在不停地刮，雨在不停地下。

(風は絶えず吹き、雨は止めどなく降っている。)

(63) 我经常在想，为什么会有战争？

(私はしょっちゅう考えています。どうして戦争があるのかと。)

(64) 我们在学习呢，你一会儿再来。

(私たちは勉強をしていますから、もう少ししてからまた来てください。)

1.1.15 朱景松主编(《现代汉语虚词词典》2007:531)

朱景松主编(2007:531)は“在”は“正在”(動作が進行していること、或いは状態が続いていることを表す(2007:551))の意であると解釈した。用例は下記のようなものがある。

(65) 大家的确在思索，而且的确相信军长的指示。

(皆は確かに沈思している、しかも紛れもなく隊長の指令を信じている。)

(66) 妈妈好像看出我在撒谎，因为我站在那儿一动不动，低着头不敢看他。

(お母さんは僕がウソをついているのを見透かしたようである。それは僕

がそこへ佇立し微動だせず俯き、目を見ることができなかったからである。
。)

また、朱景松主编(2007:531)は、

「“在”が動詞性の成分を修飾するとき、動作の状態は厳密にその時刻において生じていなくてもよい。従って、“还”、“一直”、“已经”等の副詞と連用することができる。」

と述べており、この記述から、“在”の[進行]は、一つの現場に制限されないと理解できる。

1.1.16 房玉清(《实用汉语语法(第二次修订本)》2008:393-394)

房玉清(2008:393)の“在”に対する解釈は「動作が進行中、或いは、状態が続いていることを表わす。」であり、用例として以下のような文を挙げている。

(67) 这时候，牛大水可还在巴巴的等着结亲呢。(孔厥、袁静)

(このとき牛大水はなお今か今かとお嫁を待ち続けていた。)

また、房玉清(2008:393)は「“在”は持続を表わすので、前方には副詞の“经常”や“一直”等を加えることもできる。」とも述べた。そこで次の例を見られたい。

(68) 我经常在练习

(私はよく練習をしている)

(69) 他一直在试验

(彼はずっと実験をしている)

1.1.17 卢福波(《汉语语法教学理论与方法》2010:142)

卢福波(2010:142)は“在”に対して次のように述べている。

「“在”は現在、或いは、ある時点、ある時間幅における動作の進行性を表わす。“在”を用いた文は、動作の一定の時間内における進行性を表せるので、文の形式上よく時間の幅を持つ連語成分、或いは“总”、“还”、“一直”など持続性を示す時間副詞と共に起する。」

次に卢福波(2010:142)が挙げた例文を引用しよう。

(70) 你在想什么?

(君は何を考えているのですか?)

(71) 整整一个假期，他都在尽义务。

(休暇の間全てを彼はボランティアに尽くした。)

(72) 从昨天晚上8点到今天早上5点，王大夫一直在做手术。

(昨夜八時から今朝の五時まで王医師はずっと手術を行っていた。)

1.1.18 袁莉容 郭淑伟 王静(《现代汉语句子的时间语义范畴研究》2010:160-170)

袁莉容 郭淑伟 王静(2010:169)は副詞“在”に対して「動作の進行を表わす」と述べた。用例は次のような文がある。

(73) 听说她还是妇女队长，整日在晒太阳、种庄稼，怎么就晒不黑呢?

(話によると彼女はやはり婦人隊長らしいね。一日中太陽に当たりっぱなしで農作業をしていて、日焼けしないはずがない。)

(74) 早就下岗的杨欣这一年来工作老是在换。

(早々とリストラした楊欣はこの一年間で仕事を何度も換えている。)

1.1.19 岑玉珍主编(《汉语副词词典》2013:373)

岑玉珍主编(2013:373)では“在”について次のような解釈を与えている。

「動作の進行、状態が続いていることを表す。」

では用例を以下の如く列举しよう。

(75) 说呀，我在听着呢！

(言って、聞いているから！)

(76) 快点，我们都在等着你呢。

(早く、私達はみなあなたのことを待ち続けているのよ。)

(77) 我在给朋友写电子邮件呢。

(私は友人にメールを書いているところです。)

(78) 我们在谈论今天发生的事情。

(我々は今日起こった出来事について話し合っているところです。)

(79) 风在轻轻地吹，小鸟在愉快地唱，孩子们在高兴地玩，一切都那么美好。

(風はそよそよと吹き、小鳥は愉快にさえずり、子供たちは喜ばしげに遊んでいる。すべてがあんなにも美しい。)

(80) 他在忙着，你有事吗？

(彼は忙しくしていますが、用事がありますか？)

(81) 他的身体在慢慢好起来。

(彼の身体は少しずつ回復しだした。)

(82) 大家都在着急，不知道该怎么办。

(皆が焦っていて、どうしてよいのかわかりません。)

1.2 第一章の結び

以上の記述から重要だと思われる点を次の如く総括する。それは全部で四つある。

第一に、多くの研究者が「進行」という言葉を用いて副詞“在”を解釈していることである。これについては第五章で詳述する。

第二に、“在”は[現在]、[過去]、[未来]のいずれにおいても生起しえるということである。故に、“在”は時態を表現することが可能であると推測できる。“在”と時制の関係、及び“在”が示す時態表現については第六章にて詳しく検討する。

第一章における第三の要点は、“在”は、“经常”、“总”、“一向”、“一直”、“还”、“又”、“已经”等と共に起し、これによって、“在”が修飾する出来事の長期的な存

在が保証されていると解しえる点である。これについては王还主编(1997:1103)が最も厳密に解釈しているといえる。つまり、王还主编(1997:1103)は、副詞の“在”を[進行]と[非進行]の二つに区分し、後者の[非進行]における“在”の用例には、意味上、複数の出来事存在を保証する“几年来”、“一直”、“还”、“又”、“没有人不”という成分が生起している、と看取できる。従って、これらの成分の生起が[非進行]の概念を生じさせる要因ではないかと推論するに到りうる。この問題に関しては第四章において詳しく論じる。

そして第四の要点は、1.1.12の张斌主编(2001)が挙げた“吉普车在公路上颠簸着，急驶着”と1.1.13の马真(2004)が挙げた“以后，我在跟人家说话时，你最好别插嘴。”という例における“在”は、通常、いずれも前置詞として見なされるが、この二つの文における動詞はともに[持続]の意味特徴を保持しており、文全体は確かに[進行]の意を表していると思しえる。しかも、副詞の“在”と前置詞の“在”は共に状況語となりえる。よって、両者の境界線は時として曖昧となる可能性があると思しえる、ということである。これに対しては第二章で妥当な見解を提示する。

最後に各研究者の“在”に対する解釈を簡潔に示すことにしよう。

表一[各研究者の副詞“在”に対する解釈]

研究者	“在”が表す意味
1.1.1 潘文娱(1980)	動作が続いている、或いは <u>進行中</u> であることを表わす。
1.1.2 北京大学中文系 1955、1957 级语言班编(1982)	動作行為が正に <u>進行</u> の状態。
1.1.3 杉村博文(1994)	時間の流れを感じさせる行為や状況の継続・ <u>進行</u> 。
1.1.4 龚千炎(1995)	動作行為の変化が <u>進行</u> 、或いは状態が続いていることを表わす。
1.1.5 王还主编(1997)	1. 動作が絶えず <u>進行</u> していることを表わす。 2. ある範囲において活動していることを強調する。しかしそれは動作が <u>進行の状態にある</u> ことを記述しているわけではない。
1.1.6 郭风岚(1998)	動作行為の <u>進行</u> 、或いは動作行為や状態の持続の時間量を表す。
1.1.7 侯学超编(1998)	“正在”(動作の <u>進行</u> 、状態が続いていることを表す(侯学超编 1998:745))と同様の意味を表わす。

1.1.8 吕叔湘主编(1999)	“正在”(動作が <u>進行</u> 中、或いは状態が続いていることを表す(吕叔湘編 1999:672))の意である。
1.1.9 朱继征(2000)	動詞の外部状況を示す <u>進行</u> 相形式。
1.1.10 李科第(2001)	動作行為がちょうど <u>進行</u> の状態にあるということを表わしている。
1.1.11 刘月华等(2001)	動作の <u>進行</u> 。
1.1.12 张斌主编(2001)	動作、或いは行為や性質の状態が <u>進行</u> 、または続いていることを表わす。
1.1.13 马真(2004)	<u>進行</u> を表す。
1.1.14 李晓琪(2005)	ちょうど <u>進行</u> しているということを表わす。
1.1.15 朱景松主编(2007)	“正在”(動作が <u>進行</u> していること、或いは状態が続いていることを表す(朱景松主编 2007:551))の意である。
1.1.16 房玉清(2008)	動作が <u>進行</u> 中、或いは、状態が続いていることを表わす。
1.1.17 卢福波(2010)	現在、或いはある時点、ある時間幅における動作の <u>進行</u> 性。
1.1.18 袁莉容 郭淑伟 王静(2010)	動作の <u>進行</u> を表す。
1.1.19 岑玉珍主编(2013)	動作の <u>進行</u> 、状態が続いていることを表す。

注

- 1) 本章は青木(2014a)の『副詞“在”の意味解釈と問題点』に加筆、修正を行ったものである。
- 2) 筆者は“正”と“在”は異なる意味役割を果たすため、両者は、意味上、二つに分けて解釈する必要があると考える。その所以については第七章で詳述する。
- 3) 副詞“在”と“呢”が共起した文についての考察は第七章の論考を見られたい。

第二章 副詞“在”と前置詞“在”の統一的解釈¹⁾

2.0 はじめに

本章では[進行]の意を示す副詞の“在”は、意味上、前置詞の“在”と同様に出来事の存在場所を示す目的語を伴っていることを証明する。従って、如何なる場合に“在”の目的語が省略され、逆に如何なる場合に“在”の目的語が生起するのかを論じることとなる。そこで考察の便宜を図り、[進行]の意を示す“在”が生起した文を以下の三つに分けることにしたい。

- ① 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文
- ② 出来事地点が特定化できずに目的語が省略された“在”構文
- ③ 目的語が生起した“在”構文²⁾

次節では「①出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文」について検討する。

2.1 出来事地点が既知の情報と見なされて目的語が省略された“在”構文

まず例を一つ挙げよう。

- (1) 这样每一天都在乞讨，这就是我心中永远无法抹去的梦魇！（テレビドラマ《夏家三千金》第27話）

（このようにして毎日物乞いをしていたのよ、これがずっと抜けきれないトラウマよ！）

この“这样每一天都在乞讨”は“在”の目的語として意味上“街边”が含まれていると考える。それは(1)の文脈を広げて考察するとその原因が判然とする。(2)を見られたい。

- (2) 那都是因为我的过去！亮亮，你是唯一一个知道我身世的人，我真的已经害怕了，我的爸妈又穷又贫，被债主逼得双双死亡，我也被债主抓到，差点就被卖了，最后，还是被逼得在街边乞讨，我就这样，每天抬起头，看着别人的鞋子，这样每一天都在乞讨，这就是我心中永远无法抹去的梦魇！（テレビドラマ《夏家三千金》第27話）

まず上から三行目の“还是被逼得在街边乞讨”（けっきょく借金取りに追い詰められて道端で物乞いをするはめになった）に注意されたい。ここでは“在”の後に“街边”が生起し“乞讨”が行われる場所を明確に理解することができる。従って、この“在”は品詞でいうと前置詞である。そこで四行目の“这样每一天都在乞讨”を見ると、ここでは“在”の後方に目的語が生起していないので、“在”の品詞は副詞である。しかし上述の如く、三行目の“还是被逼得在街边乞讨”では、“在”が前置詞として、“街边”という場所を示す目的語を導いている。よって、四行目の“每一天都在乞讨”の出来事地点も“街边”であると推測する

ことができる。つまり、三行目の“还是被逼得在街边乞讨”で既に“街边”が使われたので、四行目の“这样每一天都在乞讨”では“街边”が既知の情報として省略されたと考えるのである。

このような考察は他の研究者による見解とも整合性を有する。例えば沈家煊(1999:99)は“我在做饭”という文に対して、

「料理をする」という行為は、一般的に特定の場所、即ち台所と関係し、台所は前提的に分かる情報である」

と述べた。この記述から“在”の目的語が既知の情報である場合、省略が可能であるということが分かる。

朱德熙(1982:176)では「いくつかの前置詞の目的語は省略することができる。」と述べて、三つの例を列挙した。

(3) 他给()修好了(彼は修理してくれた)

(4) 小偷儿被()抓走了(泥棒は逮捕されていった)

(5) 他们在()说你呐(彼らはあなたのことを言っているのですよ)

更に、朱德熙(1982:178)では前置詞“被”、“给”について以下のように述べ、同時に二つの例を挙げた。

「“被”と“给”の後方には時に目的語を伴わない。それは、動作主が分からない場合、或いは、言う必要がないことがあるからである。」

(6) 他被逮捕了(彼は逮捕された)

(7) 衣服全给淋湿了(服はすっかりびしょぬれになった)

また、Chao(2011(1968):758)も前置詞“在”、“被”、“给”の目的語は省略しえろと見なしている。

以上により前置詞“在”、“被”、“给”は時として目的語の省略が可能であることを確認することができた。しかし、上記の研究者は、なぜ前置詞の目的語が省略されて副詞的な用法となったのかを、多くの実例や前後の文脈を含ませながら詳述してはいない。そこで“在”、“被”、“给”の目的語省略現象についてもう少し論じることにはしたい。まず“被”から検討する。次の(8)の用例は(2)の中から重要な表現だけを取り上げた文である。

(8) 我的爸妈又穷又贫，被债主逼得双双死亡，我也被债主抓到，差一点就被卖了，最后，还是被逼得在街边乞讨，……(テレビドラマ《夏家三千金》第27話)

(私の両親はそろって貧しく、借金取りに追い詰められてともに他界したわ。私もその借金取りに捉まって、危うく売られるところだった。最後には、けっきょく追い詰められて道端で物乞いをするはめになったの、……)

この例では前置詞の“被”が立て続けに四度も使われている。即ち、“被债主逼得双双死亡”、“我也被债主抓到”、“差一点就被卖了”、“还是被逼得在街边乞讨”

である。注目されたいのは、一番目と二番目の“被”の後方には「動作主」である“債主”が目的語として生起しているが、三、四番目の“被”の後ろには目的語が生起していない、ということである。その原因は、一、二番目の表現によって、既に「動作主」が“債主”であることが明確となったので、三、四番目では“被”の目的語である“債主”を省略したと解しえる。しかし、一、二番目の“被”構文と同様に、三、四番目の“被”構文においても、意味上は「動作主」である“債主”が存在していると見なすことができる。

そこで一つ疑問が浮かぶ。それは、なぜ一番目と二番目の“被”構文における「動作主」の“債主”は省略されず、三番目と四番目の“被”構文の「動作主」である“債主”は省略されたのか、ということである。その理由は、(8)の文脈が示すように、一番目の“被”構文の「受け手」と二、三、四番目の“被”構文の「受け手」が異なるからである。つまり、一番目の文における「受け手」は“我的爸妈”であり、二番目の「受け手」は“我”である。しかし、三、四番目の“被”構文における「受け手」は二番目に続きいずれも“我”である。故に、三、四番目の“被”に後続しえる「動作主」の“債主”は既知の情報として省略されたのである。

もう一つ“被”の目的語が省略された文を挙げよう。

(9) A: 玲子, 你这要去哪儿啊?

B: 大少爷被抓了。

A: 他怎么了?

B: 他在烟馆儿里被日本人抓了。(テレビドラマ《范府大院》第30話)

(A: 「玲子、どこに行くの?」)

(B: 「若旦那が捕まってしまいました。」)

(A: 「どうしたの?」)

(B: 「アヘン館で日本人に捕まってしまいました。」)

ここでは“大少爷被抓了”における“被”の後には目的語が省略されているが、“他在烟馆儿里被日本人抓了”における“被”の後には目的語が生起している。というのは、“玲子, 你这要去哪儿啊?”と質問された時点では、発話者の“玲子”は若旦那が捕まったことのみが重要で、誰によって捕まってしまったのかを明示する必要がない、と判断したためであるといえる。“大少爷被抓了”は望ましい出来事ではないからである。しかし“玲子”は更に相手に“他怎么了?”と質問されたため、仕方がなく“他在烟馆儿里被日本人抓了”と返答したのである。

次に前置詞“给”の目的語が省略された例を見られたい。

(10) 下月五号, 你必须, 必须给我怀上! 你要是不给怀上, 你就别来见我! (テレビドラマ《咱们结婚吧》第35話)

(来月の五日、あんたは必ず、必ず私のために妊娠するのよ! もしそうじ

やなかったら、もう会いに来るんじゃないよ!)

(11) 我的伤口是她给看的。(テレビドラマ《夜幕下的哈尔滨》第5話)

(私の傷は彼女が見てくれたんです。)

(10)の“你要是不给怀上”における“给”の目的語は“我”であると考えることができる。なぜなら“你要是不给怀上”の前には“给”の後方に“我”という目的語を伴った“必须给我怀上”という文が生起しているからである。

そして(11)の“我的伤口是她给看的”では、“给看”の間に目的語が省略されたと見なす。なぜなら、“给看”の前方には“我的伤口”が生起しているの、意味上“我”という目的語が“给”に後続すると推論しえるからである。

そこで、松村(2005)の見解を基に、命題論理(propositional logic)と述語論理(predicate logic)を併用した論理式による解析を行い、意味上、前置詞の後方に存在する目的語、および、各成分の間の意味関係を厳密に表記することにしよう。

再度(10)の“给怀上”の部分を見られたい。この文に含まれている意味を厳密に抽出すると「あなたが、私のために、あなたが子どもをつくったということをする」という意を示すと考えられるので、ここでの“给”は[授与]の意を表していると解しえる。朱德熙(1980:153)は[授与]について以下の三つの定義を行った。

① 授与者と取得者がある。

② 授与者が与えて取得者が受け取る事物がある。

③ 授与者が自発的に事物を授与者から取得者へ到らせる。

この定義を参考に(10)の“给怀上”に当てはめて分かりやすく解釈すると、

①' 授与者である“你”と取得者である“我”がある。

②' 授与者である“你”が取得者である“我”に与える出来事“怀上孩子”がある。

③' 授与者である“你”が行う“怀上孩子”という出来事が、取得者の“我”に到る。

と考えることができる。そこで以上の①'、②'、③'を命題論理と述語論理を用いて厳密に形式化することにしたい。つまり以下のように考える。

まず Chao(2011(1968):353)や朱德熙(1982:160)が述べるように“给”を述連構造の一番目の動詞であると見なし、“给”の意味的な作用域(scope)は“怀上”よりも広いと考える。³⁾そして、“给怀上”における[授与]の意は“给”が核となって生成されると理解する。従って、①'「授与者である“你”と取得者である“我”がある。」の定義に基づくと以下のような式を作ることができる。

(12) 给' (你, 我,)

スル ~ガ ~ニ ~ヲ

この式は「授与者である“你”が、取得者である“我”に、ある出来事をする」という意を表している。即ち“给”は、“你”と“我”とある出来事(ここでは“你

「怀上孩子」)の関係を指定する役割を果たしている。“给”の右に置かれたプライム“'”は論理式において“给”が述語であることを表している。なお、式には日本語のカタカナを付記したが、これは意味注釈と呼び、論理式に対する解釈の理解を補佐している。そして、②'の「授与者である“你”が取得者である“我”に与える出来事“怀上孩子”がある。」を論理式で示すと、

(13) 怀上' (你, 孩子)

ツクッタ ~ガ ~ヲ

となる。この式は“怀上' (你, 孩子)”が「あなたが子供をつくった」という意を示している。⁴⁾故にこの(13)の式を(12)に当てはめると(14)ができる。

(14) ツクッタ ~ガ ~ヲ

给' {你, 我, 怀上' (你, 孩子)}

スル ~ガ ~ニ ~トイウコトヲ

この論理式は「あなたが、私に、あなたが子どもをつくったということをする」という意味を表している。⁵⁾そして③'の「授与者である“你”が行う“怀上孩子”という出来事が、取得者の“我”に到る。」という定義を論理式で表現すると、

(15) 到' {怀上' (你, 孩子), 我}

到ル ~ガ ~ニ

となり、「それ(あなたが子どもをつくった)が私に到る」という意を表している。最後に(14)と(15)の式を組み合わせると、(10)の“给怀上”に含まれている意味が全て表されることになる。(16)を見られたい。

(16) ツクッタ ~ガ ~ヲ 到ル ~ガ ~ニ

给' [你, 我, 怀上' (你, 孩子) & 到' {怀上' (你, 孩子), 我}]

スル ~ガ ~ニ ~トイウコトヲ

この式全体は「あなたが私のために子供をつくってあげた」という意を示している。この式の内部を見ると、まず“怀上' (你, 孩子)”が「あなたが子どもをつくった」という意を示している。次に“你怀上”という出来事が“我”に到ったことを表す“到' {怀上' (你, 孩子), 我}”が「それ(あなたが子どもをつくった)が私に到る」という意を示している。“&”は連言(conjunction)の意を示している。要するに“怀上' (你, 孩子)”と“到' {怀上' (你, 孩子), 我}”という命題が同時に成立していることを意味する。そして(16)の論理式全体である“给' [你, 我, 怀上' (你, 孩子)&到' {怀上' (你, 孩子), 我}]”は「あなたが、私に、あなたが子どもをつくり、かつそれ(あなたが子どもをつくった)が私に到るということをする」と読む。⁶⁾

以上の論理式による解析によって、“给”に後続する目的語、及び“给怀上”に含まれている意味を厳密に明示することができた。

さて、今度は上記の“给”構文の分析を基に、(8)における“被卖了”の部分も

論理表記してみよう。この文は以下の三つの意味が含まれていると考えられる。

- ① 取得者である“我”と授与者である“債主”がある。
- ② 授与者である“債主”が取得者である“我”に対して行う出来事“卖了”がある。
- ③ 授与者である“債主”が行う“卖了”という出来事が、取得者である“我”に到る。

従って論理式は下記のようになる。

- (17) 売ッタ ~ガ ~ヲ 到ル ~ガ ~ニ
 被' [我, 債主, 卖了' (債主, 我)& 到' {卖了' (債主, 我), 我}]
 被ル ~ガ ~カラ ~トイウコトヲ

“卖了' (債主, 我)”は「借金取りが私を売った」という意を示し, “到' {卖了' (債主, 我), 我}”は「それ(借金取りが私を売った)が私に到る」という意を示している。そして式全体の“被' [我, 債主, 卖了' (債主, 我)& 到' {卖了' (債主, 我), 我}]”は「私が, 借金取りから, 借金取りが私を売り、かつそれ(借金取りが私を売った)が私に到るということを被る」と読む。この論理式によって“被”に後続する目的語を明示し、かつ, “被卖了”に内在する意味を詳細に記述することができた。

以上の解析に倣い, (1)の“在乞讨”に含まれる意味も論理式で分析してみよう。この文の“在”は以下のような意味が含まれていると判断する。

- ① 動作主である“我”と動作主の存在場所である“街边”がある。
- ② 動作主である“我”が行う出来事“乞讨”がある。
- ③ 動作主である“我”が行う“乞讨”という出来事が, “街边”という場所に存在する。

そのため論理式は以下のような表記となる。

- (18) 物乞イヲスル ~ガ 存在スル ~ガ ~ニ
 在' [我, 街边, 乞讨' (我) & 在' {乞讨' (我), 街边}]
 アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ

この式は“乞讨' (我)”が「私が物乞いをする」という意を, 次に“在' {乞讨' (我), 街边}”が「それ(私が物乞いをする)が道端に存在する」という意を, そして式全体である“在' [我, 街边, 乞讨' (我)& 在' {乞讨' (我), 街边}]”が「私が, 道端において, 私が物乞いをし、かつそれ(私が物乞いをする)が道端に存在するという様態にある」と読む。

以上の論理式において重要なことは, 前置詞“給”、“被”、“在”は述語として, 三つの個体の関係を定める役割を果たすということである。この個体とは, 厳密にいうと, ある特定の属性を持つ個体である。指摘しておきたいことは, 論理式では, 出来事も個体と見なすことである。要するに「ある動作行為を行う集合の

中の個体」と考えることによって、出来事が名詞性成分の個体と一緒に演算されるのである。

そこで“給”、“被”、“在”がそれぞれ伴う三つの個体を“ α ”と“ β ”と“ γ ”を用いて、以下のように抽象化してみたい。

(a) 給’ / 被’ / 在’ (α, β, γ)

つまり“給’ / 被’ / 在’”は函数(function)として“ α ”と“ β ”と“ γ ”といった項(argument)をとる、と考える。そこで上記の“給怀上”の論理式である(16)、“被卖了”の論理式である(17)、“在乞讨”の論理式である(18)を例として考えてみると、まず、(16)の“給”が中心となって構成される論理式は、“ α ”に[動作主]が生起し、“ β ”に[受け手]が生起し、“ γ ”に[授与]の内容を示す出来事が生起すると見なしえる。次に(17)の“被”は、“ α ”に[受け手]が、“ β ”に[動作主]が、“ γ ”に[取得]の内容を表す出来事が置かれると考えられる。そして(18)の“在”においては、“ α ”は[動作主]が、“ β ”は出来事の[存在場所]が、“ γ ”は[進行]という[様態]を示す出来事が配置すると解しえる。

以上の考察により、前置詞“給”、“被”、“在”は時として目的語が生起せず副詞的な用法となるものの、意味上は前置詞の構造を保持し、目的語の意味内容が包摂されている、ということが理解できた。さて、これらの考察を頼りにし、再び“在”について論じる。次の(19)は“家里”によって“在等你”の出来事地点を見出すことができる例である。

(19) 妈妈跟姥姥做了一桌子好吃的，我是自告奋勇来接你的。走！家里就缺你这个小公主了，都在等你呢！（テレビドラマ《天真遇到现实》第33話）

（ママとおばあちゃんは沢山のごちそうを作ったんだ、お父さんは危険を承知で迎えにきたんだよ。行こう！家にはお姫様だけが足りないんだ、君を待っているよ！）

この“都在等你呢”には“在”の後ろに目的語が生起していない。しかしこの文の前方の“家里就缺你这个小公主了”には“家里”が生起していることから、“等你”という出来事が“家里”において起こっていると解釈することができる。従って“在等你”の部分は「彼女らが、家において、彼女らが君を待っている」という命題内容を含んでいると理解できるので以下のような論理式を書くことができる。

(20) 待ツ ～ガ ～ヲ 存在スル ～ガ ～ニ

在’ [她们, 家里, 等’ (她们, 你) & 在’ {等’ (她们, 你), 家里}]

アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

この論理式は“等’ (她们, 你)”が「彼女らが君を待つ」という意を表し、“在’ {等’ (她们, 你), 家里}”が「それ(彼女らが君を待つ)が家に存在する」という意を表し、“在’ [她们, 家里, 等’ (她们, 你)&在’ {等’ (她们, 你), 家里}]”が

「彼女らが、家において、彼女らが君を待ち、かつそれ(彼女らが君を待つ)が家に存在するという様態にある」という意味を表している。

次の(21)の“钱少奶奶在洗衣服”における“在”の目的語は“院中”が後続していると考ええる。

(21) 乘着钱先生闭上了眼，瑞宣轻轻的走出来。在院中，他看见钱少奶奶在洗衣服。(小説《四世同堂》310 頁)

(钱氏が目を閉じた隙に瑞宣はそっと部屋を抜け出すと、中庭で钱氏の若奥さんが衣服を洗っている姿を目にした。)

“钱少奶奶在洗衣服”では“在”と動詞との間には目的語が出現しておらず、故に，“钱少奶奶在洗衣服”という出来事が何処で行われているのかが判然としない。ところが，“钱少奶奶在洗衣服”の前方には場所を示す“在院中”が生起しているので，“钱少奶奶在洗衣服”における“在”の後方には意味上“院中”が省略されていると考えられる。よって論理式は、

(22) 洗ウ ~ガ ~ヲ 存在スル ~ガ ~ニ
在' [钱少奶奶, 院中, 洗' (钱少奶奶, 衣服)&在' {洗' (钱少奶奶, 衣服), 院中}]
アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ

となる。“洗' (钱少奶奶, 衣服)”が「钱氏の若奥さんが衣服を洗う」という意を，“在' {洗' (钱少奶奶, 衣服), 院中}”が「それ(钱氏の若奥さんが衣服を洗う)が中庭に存在する」という意を、そして“在' [钱少奶奶, 院中, 洗' (钱少奶奶, 衣服)&在' {洗' (钱少奶奶, 衣服), 院中}]”が「钱氏の若奥さんが、中庭において、钱氏の若奥さんが衣服を洗い、かつそれ(钱氏の若奥さんが衣服を洗う)が中庭に存在するという様態にある」という意を表している。

以上の二例からも副詞“在”の目的語の省略現象を理解することができた。念のため、似た例を幾つか追加しておきたい。

(23) 那是一个寂静的下午，内文学馆中只有婉儿一个女孩在看书。(小説《上官婉儿》30 頁)

(あれは静寂なる午後だった、内文学館ではただ婉儿だけが読書をしていた。)

(24) 高登在修理场，他在装新的锅炉。(テレビドラマ《托马斯&朋友》第 21 話)
(機関車のゴードンは修理場にいた、彼は新しいボイラーを装着しているところだ。)

(25) 阮先生是在里面，不过他还在昏迷，我们还在观察中。(テレビドラマ《佳期如梦》第 16 話)

(阮さんは中にいます。ただ相変わらず昏睡しておりまして、私たちはまだ容態を窺っているところです。)

(23)の“婉儿一个女孩在看书”における“在”の目的語は“内文学馆”である

と見なしえる。というのは“婉儿一个女孩在看书”の前に“内文学馆”という場所を表す成分が生起しているからである。ここでも論理式による分析を行うことにする。

(26) 見ル ～ガ ～ヲ 存在スル ～ガ ～ニ
在' [婉儿, 内文学馆, 看' (婉儿, 书) & 在' {看' (婉儿, 书), 内文学馆}]
アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

この式は“看’(婉儿, 书)”が「婉儿が本を読む」という意味を表し, “在’{看’(婉儿, 书), 内文学馆}”が「それ(婉儿が本を読む)が内文学館に存在する」という意味を表し, “在’[婉儿, 内文学馆, 看’(婉儿, 书)&在’{看’(婉儿, 书), 内文学馆}]”が「婉儿が, 内文学館において, 婉儿が本を読み、かつそれ(婉儿が本を読む)が内文学館に存在するという様態にある」という意を示している。

次に(24)の“他在装新的锅炉”における“在”の目的語は、前に生起した“修理场”であると理解できる。故にこの文の論理式は、

(27) 装着スル ～ガ ～ヲ 存在スル ～ガ ～ニ
在' [他, 修理场, 装' (他, 新的锅炉)&在' {装' (他, 新的锅炉), 修理场}]
アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

と表記できる。この式は“装’（他，新的锅炉）”が「彼が新しいボイラーを装着する」という意味を，“在’〔装’（他，新的锅炉），修理场〕”が「それ（彼が新しいボイラーを装着する）が修理場に存在する」という意味を，そして式全体の“在’〔他，修理场，装’（他，新的锅炉）&在’〔装’（他，新的锅炉），修理场〕〕”は「彼が，修理場において，彼が新しいボイラーを装着し、かつそれ（彼が新しいボイラーを装着する）が修理場に存在するという様態にある」という意を表している。

(25)の“不过他还在昏迷”における“在”の目的語は、前の“阮先生是在里面”における“里面”であると解しえる。この文も論理表記しておこう。

(28) 昏睡スル ～ガ 存在スル ～ガ ～ニ
在' [他, 里面, 昏迷' (他) & 在' {昏迷' (他), 里面}]
アル ～ガ ～ニオイテ ～トイウ様態ニ

“昏迷’（他）”が「彼が昏睡する」という意味を表し，“在’〔昏迷’（他），里面〕”が「それ（彼が昏睡する）が中に存在する」という意味を表し，“在’〔他，里面，昏迷’（他）&在’〔昏迷’（他），里面〕〕”が「彼が，中において，彼が昏睡し、かつそれ（彼が昏睡する）が中に存在するという状態にある」という意を表している。

以下の二例も上記と同じような解釈が可能である。

(29) A: 太太呢?

B: 在客厅，和几位杭州来的茶商在说话。(テレビドラマ《京华烟云》第26話)

(A:「うちの妻は？」)

(B:「奥様は客間にいます、杭州から来た茶商の方々と話をしているところですよ。」)

(30) 昨天在洗手间，说玩儿游戏，根本就不是玩游戏，明明就是在打电话，是不是跟西风打电话哪？(テレビドラマ《咱们结婚吧》第42話)

(昨日洗面所でゲームをしていると言ってたけど、全くもって嘘じゃない、間違いなく電話をしていたわ、西風と電話をしていたの?)

(29)の“和几位杭州来的茶商在说话”における“在”の目的語は前方に生起した“客厅”であると理解できる。この文もこれまでと同様に論理表記しておこう。

(31) スル ~ガ ~ヲ 存在スル ~ガ ~ニ

在' [太太, 客厅, 说' (太太, 话) & 在' {说' (太太, 话), 客厅}]

アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ

この式は“说' (太太, 话)”が「奥様が話をする」という意味を表している。そして“在' {说' (太太, 话), 客厅}”が「それ(奥様が話をする)が客間に存在する」という意を表している。式全体である“在' [太太, 客厅, 说' (太太, 话)&在' {说' (太太, 话), 客厅}]”は「奥様が、客間において、奥様が話をし、かつそれ(奥様が話をする)が客間に存在するという様態にある」という意を表現している。

(30)では、最初に“昨天在洗手间”が生起しているので、後方にある“明明就是在打电话”の“在”には、意味上、“洗手间”という目的語が後続すると判断できる。

従って“在打电话”の部分論理式にして表すと、

(32) スル ~ガ ~ヲ 存在スル ~ガ ~ニ

在' [你, 洗手间, 打' (你, 电话) & 在' {打' (你, 电话), 洗手间}]

アル ~ガ ~ニオイテ ~トイウ様態ニ

と書ける。この式は“打' (你, 电话)”が「あなたが電話をする」という意味を表し、“在' {打' (你, 电话), 洗手间}”が「それ(あなたが電話をする)がトイレに存在する」という意味を表し、“在' [你, 洗手间, 打' (你, 电话)&在' {打' (你, 电话), 洗手间}]”が「あなたが、トイレにおいて、あなたが電話をし、かつそれ(あなたが電話をする)がトイレに存在するという様態にある」という意を表している。

以上の解析方法に倣うと、“正在”が生起する文についても同様に解釈しえることに気付く。例えば、

(33) 还有一天，一个最放肆的年青的站了起来，二话不说就走进秀莲的卧室，秀莲还正在睡觉。(小説《鼓书艺人》55頁)

(更にある日、一番放蕩な青年が起立し、一目散に秀蓮の寝室へと入っていった。秀蓮はまだ睡眠をとっているところだった。)